

「全鍍連」 2017年 5月号 巻頭言

全鍍連経営委員長 薄衣 敏則 (株)薄衣電解工業 代表取締役)

「岩手県北上市の魅力」



皆さんは岩手県北上市と言えば何を思い浮かべるでしょうか?「北上夜曲」を思い浮かべる方も多いかと思いますが、この曲は昭和 16 年に生まれたものであり、今でも市民に歌い継がれています。

弊社・薄衣電解工業は昭和 33 年に川崎市にて創業しましたが、この北上市では昭和 60 年に北上工場を開設し、バブル崩壊、リーマンショック、そして東日本大震災と、数々の苦難を経験しながらも、その度に会社及び社員の体質も強化され、おかげ様で今日に至っております。北上工場では操業当初、なかなか受注が頂けずに苦労した日々もありました。そのことから一品一点の注文も疎かにしない対応に徹し、それらの積み重ねから現在では東北地区を中心に東京・神奈川そして西日本と 700 社を超えるお付き合いをさせて頂くことが出来るようになりました。まためっきの種類も防錆品から電子部品など機能用途品に至るまでの対応が可能となるよう数多く設置し、それらを基に多品種少量品の生産を主に行っております。それもこれも一品一点の注文を常に大切にしてきたことが根底にあり、今後もこのような気持ちで進めて行く事に変わりはありません。

こんな北上工場ですが、ここで北上市の魅力について少しお話しさせていただきます。

北上市は昭和 30 年代から東北からの出稼ぎをなくそうと、全国に先駆けて工業団地の整備や工場誘致を市長が先頭に立って進め、今では工業の集積も多く、また交通網も良く東北新幹線、東北道、秋田道、そして花巻空港と空の便も利用出来るものづくりの拠点としては利便性の高い地域です。

また春夏秋冬、自然もスポーツも、そして味覚も堪能出来る所でもあります。たとえば自然では桜の東北三大名勝地の一つの展勝地、会社からも 20 分程度で行ける花巻温泉郷、スポーツでは北上駅からも 30 分程度で行くことが出来る冬の夏油スキー場、この夏油スキー場は降雪量が豊富で 5 月初めまで滑ることが可能な本格的なスキー場です。市街地からこのように近い所にある本格的なスキー場は他にはないので市民は誇りにしています。また味覚については春先の山菜から秋には名産品の二子芋(里芋)、果物はリンゴと豊富に楽しむ事も出来ます。

こんな北上市ですが平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の時はやはり大変な状況でした。

会社の被害はお陰様で修繕費程度で済みましたが、停電、ガソリン不足に加えて上水の供給及びめっき資材の入手に大変な困難を強いられました。今になっては「思い出話し」になりますが、その時の苦難を社員一丸となって乗り越えたことに、現在の連帯感が出来上がったものと思っています。

我々は当たり前の時には何も感ぜず、苦難の時に本当の意味での変革や体質の改善について真剣に考え、そして進む事を学びました。

東日本大震災から早6年が経過しましたが、岩手県の復興はまだ半ばです。

私たちはこれからも出来る限りの復興や、地域の繁栄のお役に立てるよう努めてまいります。